

# 「ツクルバ」で予定している活動

年間4～6回程度（不定期）の開催を計画しています。

## ① ワールドカフェ方式による会議を年3～4回開催

各団体で活動している「地域愛を育む取り組み」や「地域の魅力を高める取り組み」を通じて、相互に各団体の取り組みを理解して課題解決の検討や発展的な実践につながります。

春 今年度の各団体の活動予定の共有と実現に向けた課題に関する協力について

夏 外部講師等によるまちづくり活動の勉強会など

秋 活動の振り返りの共有と次年度の活動に向けた課題と解決手法の検討

※ワールドカフェ方式とは少人数に分かれたテーブルで自由に対話し、他のテーブルとメンバーを交替して対話を続けます。結果として参加した全員の意見や知識を集めることができる手法です。

この会議で大事にしたいこと

共有 各団体の住みよい地域につながる取り組み…どんなことをしているか

共感 取り組みの考え方・課題となっていることで、共感することはあるか

共助 他団体の課題に対して、自分たちが得意としていること、協力できることはあるか

## ② 町内のまちづくりのツールとなる「景観資産」を拾い集める作業（不定期開催）

この町の魅力を形づくるものは何かを探し、共有し、そしてそれを活用することで、この町の魅力を更に磨き上げていくことが大切です。有形・無形にかかわらずこの町の大切な財産を探す作業を皆さんと一緒にを行います。

景観資産は、

『多くのヒトがその“モノやコト（＝ツール）”を使って“シアワセ”を生み出すもの。』と定義。

“ヒト”とは町民だけでなく、ここを訪れる全ての人。観光に来た人、外国人なども。

“モノ・コト”とは、形あるものだけでなく、文化、歴史などの形のないものも含まれ、ただ保存、保全するのではなく、多くの人を使う（＝利用する）という視点。

“シアワセ”とはなにか。カネを生み出すことだけではない。ココロの豊かさも。くっちゃんにあるもので、何が、多くのヒトにシアワセをもたらすのか。物語性（ストーリー性）の視点を大切に、いろんなモノ・コトを有機的につなぐものが景観資産と考えています。

## ③ フォトコンテストの入選作品を選定します（年1回）

子どもからお年寄りまで参加する「景観フォトコンテスト」作品の全てを展示し、参加するメンバーで意見交換をしながら入選作品を選定します。写真を通して、改めて倶知安の魅力を再確認する場とし、今後の団体活動に生かしていくことを期待します。

選定のポイント

・風景ではなく、人々の営み・息吹を感じられる点も選考の要素とする。

・グループワークで3作品を選び、うち1作品を発表（ココロに響いたorくっちゃんらしさを感じた点）し、作品の良さを共有。

・全てを聞いた上で改めて3作品を選びなおして順位をつけて、投票。

## ④ その他、次世代をターゲットにした景観まちづくりの実践（不定期）

駅周辺のまちづくりや小中高校生のまちづくり意識の醸成に向けた取り組みなどを「ツクルバ」メンバーで協力しながら実践していきたいと考えています。